

(5) として追加

## 新型コロナウイルスのまん延のもとで地球温暖化を考える

本会常任世話人代表 望田幸男

本会は核兵器廃絶をめざすことからスタートし、脱原発、再生可能エネルギーの普及、さらに地球温暖化からの脱出へと、キャンペーン目標を拡大・複合化してきました。そこには非核平和運動を、たんに核戦争のない状態にとどまらず、人類の豊かな発展につないでいきたいという本会の願いがあります。

このような私たちの非核平和のキャンペーン目標は、今日、猛威をふるっているコロナウイルスを克服する道にも関連しているという見解が提示されています。それといたしますのは、コロナウイルスのまん延は、地球温暖化の問題に起因している、すなわち地球温暖化が、ウイルスのなかに熱に強い種を残していき、熱帯性の感染症の広がりをつくりだしたというのです。とすると今日の苦難＝コロナウイルス問題の根源はここにあるということになります。かくして地球の温暖化を阻止する道とコロナウイルスの蔓延を封殺する道は重なり合っているということになります。

このような意味で、地球温暖化を阻止するというキャンペーンは、コロナウイルスの猛威に悩まされている現下の大問題に連動する関係にあるといえましょう。